

2024年度 土プロ 4分野[私たちと森林]講座一覧表					
日程	講座名	講師	対象学年	定員	到達目標
1 5月25日	江戸から東京へ ～東御苑の歴史と自然を学ぶ～	鳥崎肇一、他2名	全学年	20	皇居東御苑は、文字通り皇居の東側、古くは江戸城の本丸、二の丸と三の丸だった場所にあります。面積は21haあり、江戸城を偲ばせる史跡が残り、また東京の都心とは思えない、静かで緑豊かな環境が保たれています。苑内では、消えつつある植物、果物の品種などを保存する試みもされています。江戸から東京へ、どのような変遷をたどり、現在の貴重な自然が残ったのかを学びます。 実施場所：皇居東御苑
2 6月1日	哺乳動物と野鳥の生き方を知る	藤原 裕二、他2名	全学年	20	日本には豊かな森があり、たくさんの動物が生きています。そこには「食べる―食べられる」の生き物の関係があります。このプログラムでは、動物園で日本や外国に棲む様々な哺乳動物と野鳥の姿や行動を見て、野生動物が自然の中で生きるための仕組みを知ってもらうことをねらいとします。 実施場所：多摩動物公園 費用：入園料(中学生：無料・高校生：600円)
3 6月22日	草笛体験講座	戸村 二美男、他3名	全学年	20	草笛というと、木や草の葉を使った柴笛を思い浮かべますが、今回は、野にある様々な材料で、葉を使った笛、竹笛、ドングリ笛等、5種類の笛を作ります。そして最終的に曲が演奏できる笛で、参加者全員による演奏を行います。自然の材料が醸し出す、様々な音色を楽しんでください。 費用：なし
4 9月7日	草木染の毛糸でミサンガ作り	福田 正男、他3名	全学年	20	日本には、約5300種の植物が生息しており、その多くが古来より衣服の染剤として利用されてきました。本講座では身近な植物を利用して染めた毛糸を使って、2種類以上のミサンガを編むのを目標とします。化学染料ではない、自然の色彩の組合せを楽しんでもらいます。 材料費：300円程度
5 10月26日	高尾山の自然と友達になろう	長谷川 守、他3名	全学年	25	高尾山は、関東山地の端にある標高599mの小さな山ですが、東京都にありながら自然が豊かで変化に富んだ山として知られています。このプログラムでは、高尾山にはなぜ豊かな自然が残り、しかも多様性に富んでいるのかを体感しながら学びます。事前学習で質問を準備してください。ケーブルカーで高尾山駅まで上り、富士道を歩いて山頂へ行きます。山頂からは、自然研究路の4号路を下り、高尾山駅に戻ります。 費用：1000円程度(往復のケーブルカーまたはリフト代)
6 11月9日	初めての草木染に挑戦	高須賀 幸英、他3名	全学年	24	化学染料が普及する前、染色のほとんどは植物から抽出した染料を使用していました。本講座では身近な植物を利用し、トートバッグなどを染めてみます。家庭の台所でも一人で染色が出来る方法を学ぶことで、草木染への理解を深めてもらい、あわせて私たちの生活が多くの植物に支えられていることを実感してもらいます。 材料費：400円程度
7 1月18日	木の実を使って、作ってみよう！ ネイチャークラフト	横尾 俊弘、他3名	全学年	24	ドングリやマツボックリなどの木の実、自然の実りには、一つ一つに違った個性、表情があり、工業製品にはない素朴さ、愛おしさがあります。こうした自然の素材を用いて、ストラップなどのアクセサリー他、いくつかの小物を作ります。お気に入りの作品作りができるよう、技術的なポイントを説明しますので、かわいいネイチャークラフト作りをトライしてください。作品作りを通して、これまで気づかなかった森の恵み、自然の実りに親しみをを感じる機会となるところをねらいとします。 材料費：500円程度
8 2月15日	マダガスカル熱帯雨林を歩く ～ワオキツネザル、1m長のケヅメリクガメ、 パオバなど観察～	深串 泰光、他3名	全学年	21	豊かな生物多様性をもつ熱帯雨林の生態を理解することを到達目標とします。マダガスカルのバイオリウムを通じて、珍しい動植物の自然観察し、五感を使いゲームを通じて理解を深めましょう。 実施場所：進化生物研究所 バイオリウムとセミナールーム 費用：なし(施設入館料は、免除願ひにて対応)